

# Syllabus

## 科目別年間進度表

1. 国語総合	.....
2. 現代社会	.....
3. 数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ	.....
4. 数学Ⅰ・数学A（創造表現）	.....
5. 理科総合A	.....
6. 理科総合B	.....
7. 体育	.....
8. 保健	.....
9. 音楽Ⅰ	.....
10. 美術Ⅰ	.....
11. 書道Ⅰ	.....
12. OCⅠ	.....
13. OCⅠ（創造表現）	.....
14. 英語Ⅰ	.....
15. 家庭基礎	.....
16. 素描Ⅰ	.....
17. 美術Ⅰ（創造表現）	.....
18. 美術基礎	.....

	単元名 (太字は現代文)	学習する内容 (太字は現代文)	時間数
前	4月 <b>評論一 (説明的文章への導入)</b> 古文：入門 (歴史的仮名遣い) 漢文：入門 (構造と訓読)	<b>「独創を生む条件」</b> 小関智弘 「児のそら寝」 宇治拾遺物語 「訓読に親しむ (一)」	<b>現4</b> 古4 漢2
	5月 <b>小説一 (文学的文章の読み方)</b> 他 古文：入門 (品詞・用言) 漢文：入門 (再読文字・助字)	<b>「羅生門」</b> 荊龍之介 「 <b>水の東西</b> 」 山崎和 「絵仏師良秀」 宇治拾遺物語 「訓読に親しむ (二)」	<b>現11</b> 古10 漢5
	6月 <b>小説二 (文学的文章の読み方)</b> 古文：入門 (用言・係結び) 漢文：入門 (故事成語) ●第1回考査	<b>「夢十夜」</b> 夏目漱石 「頭宗という笛吹き」 十訓抄 「漁父之利」 戦国策	<b>現5</b> 古4 漢2
期	7月 <b>評論二・三 (説明的文章の読解)</b> 古文：物語を楽しむ (助動詞一) 漢文：入門 (故事成語) ●夏季課題テスト	<b>「ものことば」</b> 鈴木孝夫 「 <b>ネットが</b> 」 黒崎政男 「かぐや姫のおひたち」 竹取物語 「狐借虎威」 戦国策	<b>現8</b> 古6 漢3
	(8月) 9月 <b>詩 (文学的文章を味わう)</b> 古文：随筆を読む (助動詞二) 漢文：古代の史話 ●第2回考査	<b>「一つのメルヘン」</b> 中原中也他 「つれづれなるままに」 他 徒然草 「勿頸之交」 十八史略	<b>現6</b> 古8 漢4
後	10月 <b>小説三 (文学的文章を読み深める)</b> 古文：随筆を読む (助動詞三) 漢文：古代の史話	<b>「城の崎にて」</b> 志賀直哉 「奥山に、猫また・・・」 他 徒然草 「臥薪嘗胆」 十八史略	<b>現5</b> 古8 漢4
	11月 <b>評論一・三 (説明的文章の読解)</b> 古文：日記と紀行 (助動詞四) 漢文：漢詩の鑑賞 ●第3回考査	<b>「知的創造の」</b> 外山滋比古 「 <b>自分・この</b> 」 鷲田清一 「門出」「帰京」 土佐日記 「春暁」 他	<b>現8</b> 古8 漢4
	12月 <b>短歌と俳句 (文学的文章を味わう)</b> 古文：物語を楽しむ 漢文：漢詩の鑑賞	<b>「その子二十」「こころの帆」</b> 「東下り」 伊勢物語 「春暁」 他	<b>現7</b> 古4 漢2
期	1月 ●冬季課題テスト <b>評論四 (説明的文章の読解)</b> 古文：和歌の世界 (和歌の修辞) 漢文：中国の思想	<b>「世界中がハンバーガー」</b> 多木浩二 「万葉集」「古今集」「新古今集」 「学問」「仁」 論語	<b>現6</b> 古8 漢4
	2月 <b>小説三 (文学的文章を通して表現する)</b> 古文：軍記物語の世界 漢文：中国の思想	<b>「空き缶」</b> 林京子 「木曾の最期」 平家物語 「政治」 論語	<b>現8</b> 古8 漢4
	3月 ●第4回考査 1年間のまとめ		<b>現2・古2・漢1</b>

	現代文 副教材 (試験範囲)	古典 副教材 (試験範囲)
第一回考査	◆ 「ニューエイジ現代文2」 1～5 ◆ 「漢字の実践練習」 第1回～第10回	◆ 「ルート古文1」 1～4 ※ 「解釈のための必携古典文法 改訂版」 用言 (動詞・形容詞・形容動詞) ◆ 「ルート漢文1」 1～5
夏季課題	◆ 「ニューエイジ現代文2」 6～12 ◆ 「読書感想文」 ◆ 「漢字の実践練習」 第41回～第43回 漢字の応用編 p 90～p 112	◆ 「ルート古文1」 5～10 ◆ 「ルート漢文1」 6～10
第二回考査	◆ 「ニューエイジ現代文2」 13～17 ◆ 「漢字の実践練習」 第11回～第20回	◆ 「ルート古文1」 11～14 ※ 「解釈のための必携古典文法 改訂版」 助動詞 (過去・完了・推量・打消・打消推量) ◆ 「ルート漢文1」 11～14
第三回考査	◆ 「ニューエイジ現代文2」 18～22 ◆ 「漢字の実践練習」 第21回～第30回	◆ 「ルート古文1」 15～18 ※ 「解釈のための必携古典文法 改訂版」 助動詞 (受身・使役・伝聞推定・断定) ◆ 「ルート漢文1」 15～18
冬季課題	◆ 「ニューエイジ現代文2」 23～27 ◆ 「漢字の実践練習」 漢字の応用編 p 90～p 112	◆ 「ルート古文1」 19～22 ◆ 「ルート漢文1」 19～22
第四回考査	◆ 「進研WINSTEP現代文1」 評論 1～3 小説 10～12 ◆ 「漢字の実践練習」 第31回～第40回	◆ 「進研WINSTEP古典1」 1～5 ◆ 「進研WINSTEP古典1」 16～18

	単元名	学習する内容	時数
前期	4月 第1編 現代の社会生活 2章 青年期の課題	自己を形成する上で大切な青年期の意義と課題を学習する。	20
	5月 第2編 現代の経済社会 1章 科学技術の発達と現代の企業	資本主義経済を中心に経済活動の基本的事項を学習し、時事的な課題について幅広い視点から考察する。	
	6月 第1回考査	テスト返却	20
	7月 2章 市場機構と政府の役割 3章 日本経済の進展と課題	経済活動と国民福祉の関係について学習する。 テーマを選択し、長期休業を利用して調査、分析などをして小論文を作成する。	
	9月 第3編 現代の民主政治 1章 民主政治の基本原則	民主政治の意義や成り立ちについて学習する。	
	第2回考査	テスト返却	
後期	10月 2章 日本国憲法 3章 日本の政治機構	日本国憲法の理解を通して基本的人権の理解を深め、立法、行政、司法さらに地方自治の役割を学習する。	20
	11月		
	12月 第3回考査	テスト返却	
後期	1月 第4編 国際政治の動向 1章 国際社会の動向	国際法の意味や国際連合の役割を学習する。国際社会を維持していくための方策を考える。	10
	2月 2章 国際経済の動向		
	3月 第4回考査	テスト返却	

学習の要点と発展学習に向けて
全体を通して、学習内容を発展・深化させるために、新聞や本を読むことをおすすめします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業では全体を通して、現代の社会の中で、自己がどのように生きていくかを考えていくことになる。このために、まず青年期の意義と課題を理解し、青年期の生き方について考えてみよう。</li> <li>私たちの日常生活を支えている資本主義経済の仕組みについて学習し、雇用・財政・環境の保全など、みじかで具体的な課題について考えてみよう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済の現状と福祉国家としての課題を理解しよう。</li> <li>長期休業中には、「地球環境」、「資源・エネルギー」、「宗教と芸術」、「生命倫理」、「福祉社会」、「大衆社会」「国際社会」、「高度情報社会」等のテーマ中から、自分としての問題を見つけて、調査、分析、まとめを行い小論文を作成する。</li> <li>民主社会の成り立ちや制度について理解しよう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法に規定されている基本的人権と、その保障のための制度を理解しよう。私たちの人権をよりよく守っていくためにはどうすればいいのか、具体的事例をもとに考えていこう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化した私たちの経済生活が、これからも安定し、さらに発展していくためには、何を改善していくべきかについて考えてみよう。</li> </ul>

## 数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	数学Ⅰ第1章 方程式と不等式	この章では、式の変形、不等式、絶対値、ルート of 扱いなど、高校の数学を学習する上でのいわゆる”ツール”を取得します。	15
	5月	数学Ⅰ第2章 2次関数	中学校で学んだ一次関数および2乗に比例する数を発展させていきます。グラフから現象を読みとることなど、高校数学の基盤となる分野です。	30
	6月	数学A第3章 平面図形 第1回考査	相手を納得するには共通の「言葉」で説明することが必要です。ここでは論理の組み立て方を学びます。	15
期	7月	数学Ⅰ第3章 図形と計量	中学校で学んだ三角形や円の性質を更に発展させます。美しい世界がここにあります。  古代エジプトでは、ナイル川の氾濫後、正しく測量して畑や街をつくり直す必要がありました。そこで三角比の考え方が発展していきました。	25
	9月	数学A第1章第1節 集合 数学A第1章 場合の数と確率 第2回考査	中学で学んだ確率を更に発展していきます。宝くじ・トランプなど身の回りにある確率の現象は多いです。	25
後	10月	数学A第2章 論理と集合	相手を納得するには共通の「言葉」で説明することが必要です。ここでは論理の組み立て方を学びます。	5
		数学Ⅱ第1章 式と証明		10
	11月	数学Ⅱ第2章 複素数と方程式	2乗してマイナスになる数を導入します。この考え方は、様々な分野で応用されています。	20
		数学Ⅱ第3章 図形と方程式	補助線を引いて、いろんな定理を世の天才たちは発見してきた。違う方法が見つかりました。数式を使って交点を求めます。点と直線の距離まで測れます。	30
12月	第3回考査			
期	1月	数学Ⅱ第4章 三角関数	三角比を関数として扱います。サインやコサインのつくるグラフの美しさを感じてください。バイオリズムの曲線もこんな形です。	20
	2月	数学Ⅱ第5章 指数関数・対数関数	2を5乗すること。それは、2を5回かけること。5を指数という。では2を-1乗するとはどんなことか？	15
	3月	第4回考査		

(注)詳細は、別途プリントを参考にすること。

## 数学Ⅰ+A(創造表現)

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	数学Ⅰ第1章 方程式と不等式	この章では、式の変形、不等式、絶対値、ルート of 扱いなど、高校の数学を学習する上でのいわゆる”ツール”を取得します。	30
	5月	数学Ⅰ第2章 2次関数		40
	6月	第1回考査		
期	7月	数学Ⅰ第2章 2次関数	中学校で学んだ一次関数および2乗に比例する数を発展させていきます。グラフから現象を読みとることなど、高校数学の基盤となる分野です。	
	9月	第2回考査		
	10月	数学Ⅰ第3章 図形と計量	古代エジプトでは、ナイル川の氾濫後、正しく測量して畑や街をつくり直す必要がありました。そこで三角比の考え方が発展していきました。	40
後	11月	第3回考査	(数学Aの平面図形も関連させます)	
		数学A第1章 場合の数と確率		30
	12月	1月		
		2月		
3月	第4回考査			

# 理科総合A

		単元名	教材名	時間数
前	4月	物質の構成と変化	物質の構成単位 教p 10～14	計27
	5月		物質を構成する粒子 教p 15～27	
期	6月	物質の利用 資源の開発と利用  第1回定期考査	日常生活と物質 教p 60～69	計27
	7月		生物のつくる物質 教p 70～80	
後	9月	いろいろな エネルギー 第2回定期考査	金属資源とその利用 教p 145～149	計27
	10月		非金属資源とその利用 教p 150～151	
後	11月	物質の構成と変化 温暖化のメカニズム を知る 温暖化の対策 を考える 資源の開発と利用  第3回定期考査	酸と塩基の反応 教p 41～45	計24
	12月		酸化還元反応 教p 46～51	
期	1月	いろいろな エネルギー 第4回定期考査	太陽のエネルギーの流れ 教p 158～162	計27
	2月		CO <sub>2</sub> の循環とその影響 教p 163～167	
	3月		くらしの中の対策 教p 168～172	
			科学技術による対策 教p 173～179	
			いろいろなエネルギー資源 教p 132～141	
			エネルギー資源の利用 教p 142～144	
			運動の表し方 教p 86～90	
			力と運動 教p 91～101	
			仕事 教p 102～105	
			力学的エネルギー 教p 106～111	
			電気エネルギー 教p 117～121	
			エネルギーの移り変わり 教p 122～125	

副教材	学習の目標
化学図録 p 10～31  化学問題集 p 10～41	<ul style="list-style-type: none"> <li>元素記号, 原子の構造, 電子配置, イオンの生成などについて理解する。</li> <li>イオン結合と結晶, 共有結合と分子, 金属結合と結晶, 電気陰性度と分子の極性, 分子結晶と分子間力, 結晶の種類と比較, 周期表と化学結合などについて理解する。</li> <li>純物質, 混合物, 単体, 化合物, 分離などについて理解する。</li> <li>様々な物質の性質や用途などについて理解する。</li> <li>身の回りにおける資源の用途から, リサイクル等の必要性を理解する。</li> </ul>
化学図録 p 34～39 p 58～61 化学問題集 p 42～71	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応式, 化学式量, 物質量, 物質間の量的関係, 溶液の濃度などについて理解する。</li> <li>熱化学方程式, ヘスの法則, 結合エネルギーなどについて理解する。</li> <li>物質を構成する原子や分子の, 熱運動について理解する。</li> </ul>
化学図録 p 62～77  化学問題集 p 72～93	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義, 水素イオン濃度とpH, 中和と塩, 中和滴定などについて理解する。</li> <li>酸化と還元の定義, 酸化数, 酸化剤と還元剤, 酸化還元反応式, 酸化還元滴定などについて理解する。</li> <li>様々な資源の有用性や有限性などについて理解する。</li> <li>身の回りにおける化学変化を知る中で, 環境への問題点を理解する。</li> </ul>
理科総合サ ブテキスト 物 理 編	<ul style="list-style-type: none"> <li>等速度運動, 速度の合成と分解, 相対速度, 等加速度運動, 落下運動などについて理解する。</li> <li>力, 仕事と仕事率, エネルギーの保存と変換などについて理解する。</li> <li>エネルギーの保存と変換から, エネルギーの有効活用について理解する。</li> </ul>

# 理科総合B

	単元名	学習する内容	時間数	
前	4月	1. 自然の見方	被子植物の花の構造, 火成岩の種類, 個体数の変動, 火山の活動など	2
		2. 自然の探究の進め方	一般的な探究の過程, 顕微鏡の扱い方, プレパレートの作り方, ミクロメータの測り方	2
	5月	1. 変動する地球と多様な景観	地球の表面と内部, プレートとその動き, 大山脈の形成, 地質構造, 地震と火山活動, 大陸の移動	5
		2. 大気と水の働き	地形の変化, 海底と島弧の景観 大気圏, 熱収支, 大気の大循環, 海洋の大循環, 天気の変化, 四季の天気	5
	6月	1. 惑星としての地球	太陽系と惑星の特徴, 月, 生物が生存する条件	4
		第1回考査		1
	7月	2. 地球の誕生	原始地球の誕生, 原始海洋と原始大気の形成, 生命の誕生	4
		自然の探究① 自然の探究②	活断層地形の特徴 台風の進路	1 1
	8月	1. 生命の誕生とその発展	原始生命体の誕生, 光合成生物の出現, 光合成生物と大気の変化, 好気呼吸生物の出現, 原核生物から真核生物へ	5
	9月	2. 生物の変遷と地球環境の変化	水中生物の繁栄, 生物の陸上進出, 生物界の発展, 霊長類の進化	5
	第2回考査		1	
後	10月	1. 親と子のつながり	親と子の形質, 有性生殖と染色体	3
		2. 遺伝の法則	メンデルの研究, メンデルの法則, 中間遺伝, 複対立遺伝子	5
	11月	3. 遺伝子と染色体	遺伝子と染色体の行動, 性染色体と性決定, 遺伝子の本体—DNA	4
		1. 生物の多様性	環境への適応, 生物の共通性と多様性 (五界説), 藻類, コケ植物, シダ植物, 種子植物, 原生動物, 軟体動物, 環形動物, 節足動物, 脊椎動物	5
	12月	第3回考査		1
	期	1月	2. 生物と環境のかかわり	生物を取り巻く環境, 生態系の成り立ち, いろいろな生態系, 生態系の平衡
		自然の探究③ 自然の探究④	植物の葉による光の吸収 土壌動物と環境	1 2
2月		1. 課題研究の進め方		2
		2. 河川の水質調査		3
3月		3. その他の課題例	地球温暖化, オゾン層の破壊, 大気汚染, 野生動物の保護など	5
		第4回考査		1

教材等
教科書 p 6～18 : 序章 自然の探究
教科書 p 20～86 : 第I章 地球の姿と移り変わり 第1節 地球の変動と多様な景観 (教科書 p 20～45) (フォトサイエンス p 32～44) 第2節 大気と水の循環 (教科書 p 46～63) (フォトサイエンス p 36, p 50～51) 第3節 生命の星—地球 惑星としての地球 (教科書 p 64～75)
地球の誕生 (教科書 p 76～86) (フォトサイエンス p 34, p 37)
教科書 p 88～178 : 第II章 生命の移り変わりと自然のつりあい 第1節 生物の移り変わり (教科書 p 88～113) (フォトサイエンス p 18～23)
第2節 遺伝の規則性 (教科書 p 116～135) (フォトサイエンス p 2～17)
第3節 生物と環境 生物の多様性 (教科書 p 136～153) (フォトサイエンス p 24～27)
生物と環境のかかわり (教科書 p 154～178) (フォトサイエンス p 28～31)
教科書 p 180～202 : 第III章 人間の活動と地球環境の変化 第1節 課題研究の進め方 (教科書 p 180～p 181) 第2節 課題例 河川の水質調査 (教科書 p 181～191) 第3節 その他の課題例 (教科書 p 192～203) (フォトサイエンス p 52～63)

## 体育

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	オリエンテーション 体育理論 集団行動 行進練習 ラジオ体操	体力トレーニング(年間) ストレッチ・体ほぐし 種目を取り入れた体力づくり (例:バレー・サッカー) 集団行動・行進練習・ラジオ体操第2	9 (9)
	5月	男子 陸上(ハードル)	〈陸上:ハードル〉グラウンド 基礎練習・記録会	15
		女子 マット	〈マット〉体育館 基礎練習	(15)
	6月		種目合格による得点制 (記録ノート)	
	7月	男子 バレー	〈バレー〉バレーコート 基礎練習(パス・サーブ・スパイク) グループ学習・ゲーム	15
		女子 ダンス	〈ダンス〉体育館 基礎練習	(15)
	8月	体育大会練習	〈体育大会の練習〉グラウンド ラジオ体操・集団種目	12 (12)
	9月	【体育大会】	出場種目・リレー等	
	10月	男子 バレー		3
		女子 陸上(ハードル)	〈陸上:ハードル〉グラウンド 基礎練習・記録会	(3)
後 期	10月	男子 陸上(跳躍・投てき)	〈陸上:走幅跳・三段跳・砲丸投〉グラウンド 基礎練習・記録会	9
	11月	女子 陸上(ハードル)		(6)
		女子 バレー	〈バレー〉バレーコート 基礎練習(パス・サーブ) ゲーム	(18)
	12月	男子 剣道	〈剣道〉格技館 基礎練習・試合形式	15
期	1月	体育理論		3 (3)
	2月	持久走	〈持久走〉グラウンド 距離走・時間走	12 (12)
	3月	【マラソン大会】		
	男子 サッカー	〈サッカー〉グラウンド 基礎練習・ゲーム	12	
	女子 体ほぐし	〈なわとび〉グラウンド 種目合格による得点制	(12)	

## 保健

		単元名	学習する内容	時間数
前 期 後 期	4月 5月 6月	現代社会と健康	P 132~151 (20)	8
			3. 精神の健康 ①欲求と適応機制 ②心身の相関とストレス ③自己実現	
			4. 交通安全 ①交通事故の現状と要因 ②交通社会における運転者の資質と責任 ③安全な交通社会づくり	
			《第1回考査》	
	7月 8月 9月	《第2回考査》	P 152~164 (13)	9
			5. 応急手当 ①応急手当の意義とその基本 ②心肺蘇生法(実習を含む) ③日常的な応急手当	
	10月 11月	《第3回考査》	P 92~102・106~109 (15)	8
			1. 健康の考え方 ①わが国の健康水準と病気の傾向 ②健康のとらえ方 ③健康と意志決定・行動選択 ④さまざまな保健活動や対策	
			2. 健康の保持増進と病気の予防 (1) 日常の生活行動と生活習慣病	
12月 1月 2月 3月	《第4回考査》	P 110~131 (22)	10	
		(2) 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 ①喫煙と健康 ②飲酒と健康 ③薬物乱用と健康		
		(3) 医薬品と健康		
		(4) 感染症とその予防 ①現代の感染症とその予防 ②エイズとその予防		

## 音楽 I

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	「歌唱を楽しむ」	「校歌」、歌唱（独唱）練習	4
		「西洋音楽史1」	音楽史（音楽の起源）	4
			音楽史（中世・ルネサンス）	4
	5月	「リコーダー合奏」		4
期		「混声合唱1」		4
	6月	第1回考査		
		「西洋音楽史2」	音楽史（バロック）	3
		「混声合唱2」	混声合唱の練習	3
	7月	「西洋音楽史3」	音楽史（古典派）	3
		「音楽の理論を学ぶ」	音楽の基礎の学習	3
9月	「西洋音楽史4」 第2回考査	音楽史（ロマン派①）／オペラ	4	
後	10月	「日本音楽を学ぶ」	歴史	4
			楽器について	4
			篠笛について（実技を含む）	4
	11月		日本の旋律を創作する	4
期		第3回考査	創作の発表、合唱コンクール練習	2
	12月		評価	2
		「旋律の創作」	創作について	2
	1月		旋律の創作	2
		「ギターに親しむ」	ギター（旋律）	2
			コード（弾き語り）	2
2月		「グループによる演奏・発表」	編曲と演奏	10
3月	第4回考査			

## 美術 I

		単元名	学習内容	時間
前	4月	自画像（油絵）	油絵の素材への理解と技法及び表現の学習	17
	5月		・油彩画の基本技法 ・人物画の表現	
	6月			
	7月	幾何形体（デッサン）	基本的な形態と空間を認識する力を養う 鉛筆デッサンの基本と表現方法を学ぶ	6
期	8月	自画像（鉛筆デッサン）	自己を見つめることで新たな内面の発見、観察による発見、顔を描くことにより自然物の複雑な形を理解する	12
	9月		・明暗の調子や形のとり方	
後	10月	静物画（油絵）	静物画の構図のとり方や着彩の方法を学ぶ	20
	11月		・構図のとり方や描画の方法について ・油彩による立体表現及び質感表現について	
	12月			
	1月	陶芸実習	土と親しむことで手を作る喜びを知る 焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ	15
期	2月		・手練り、紐造り、板造り ・粘土の性質、釉薬の性質 ・用具の扱い方	
	3月			

## 書道 I

	単元名	学習する内容	時間数
前	4月 書道について	高等学校では国語ではなく、書道という芸術の教科として学習する。 書道の学習にあたっては、実技力の向上が必要であり、同時に鑑賞する力を養うことが必要である。	1
	5月 用具用材について 楷書の基本	文房四宝（筆墨紙硯）について学ぶ。 楷書の基本点画 起筆・送筆・収筆・はね・はらい・点折・点・はねを学ぶ。（一字書、二字書の練習）	1 10
		6月 行書の基本	行書の基本点画 用筆の特徴、字形の変化、線の太細の変化、筆順の変化を学ぶ。（一字書、二字書の練習）
	7月 半紙作品の制作	楷書・行書の基本を生かし4から6文字作品の制作	6
	8月 古典の臨書その I	行書の代表作とされる蘭亭序（時代・筆者・背景）を学び、表現力と鑑賞力を養う。	4
期	9月 拓本	牛橛造像記石碑レプリカより拓本を採り、古典の理解を深める。	2
	9月 古典の臨書その II	六朝時代・唐時代の楷書について古典の特徴や背景を学び、各自の選定した古典を臨書する。	4
	10月 画仙紙への作品化	楷書・行書の古典より各自の選定した課題を臨書する。	14
	11月 硬筆（実用書）	楷書の基本・行書の基本・平仮名・片仮名 縦書き、横書き文章・はがきの表書き・掲示文など * 文部科学省後援硬筆書写検定3級を受験できるような学習を取り入れて展開する。 広島県立美術館にて書道作品の鑑賞	10
後	12月		
	1月 漢字仮名交じり書 作品制作	漢字古典を基に短い詩文を作品にする。 * 作品にする言葉や詩文を各自が選定する。	8
	2月 作品表装	画仙紙作品を掛け軸に表装し、鑑賞する。	2
3月			

## O C I 普通コース

	単元名	学習する内容	時間数
前	4月	1. 文の種類 2. 動詞と文型(1) 3. 動詞と文型(2)	18
	5月	4. 動詞と時制(1) 5. 動詞と時制(2)	
	6月	6. 完了形(1) 7. 完了形(2)	
	第1回考査		
	7月	8. 助動詞(1) 9. 助動詞(2) 10. 助動詞(3)	
期	8月	11. 態(1) 12. 態(2)	16
	9月	13. 不定詞(1) 14. 不定詞(2)	
	第2回考査		
	10月	15. 不定詞(3) 16. 動名詞(1) 17. 動名詞(2)	
後	11月	18. 分詞(1) 19. 分詞(2) 20. 比較(1) 21. 比較(2)	18
	第3回考査		
	12月	22. 関係詞(1) 23. 関係詞(2)	
	1月	24. 関係詞(3) 25. 仮定法(1) 26. 仮定法(2)	
	2月	27. 話法	
期	3月	第4回考査	18
	1月	24. 関係詞(3) 25. 仮定法(1) 26. 仮定法(2)	

※ 上の表は「Intensive English Grammar in 27 Lessons」(文法テキスト)に関するものです。

※ 「Birdland」(Team-Teaching 用)については別途指示をします。

## OCI 創造表現コース

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	1. 文の種類 2. 動詞と文型(1) 3. 動詞と文型(2)	平叙文・疑問文・命令文・感嘆文 第1, 2, 3文型 第4, 5文型	18
	5月	4. 動詞と時制(1) 5. 動詞と時制(2)	現在・過去・進行形 未来を表す表現	
期	6月	6. 完了形(1) 7. 完了形(2) 第1回考査	現在完了形 過去完了形・未来完了形	16
	7月	8. 助動詞(1) 9. 助動詞(2) 10. 助動詞(3)	能力・許可・義務・必要 可能性・推量 will, would, shall need, used to, 助動詞+have+過去分詞	
後	8月	11. 態(1) 12. 態(2)	基本的な受動態・受動態の by ~ ・いろいろな形 SVOO/SVOC の受動態・注意すべき受動態	18
	9月	13. 不定詞(1) 14. 不定詞(2) 第2回考査	不定詞の基本用法(名詞的・形容詞的用法) 副詞的用法・不定詞の意味上の主語 動名詞の基本用法・意味上の主語・完了動名詞	
後	10月	15. 不定詞(3) 16. 動名詞(1) 17. 動名詞(2)	使役・知覚動詞 不定詞のさまざまな形 動名詞の働き 意味上の主語 重要表現 動名詞と不定詞	18
	11月	18. 分詞(1) 19. 分詞(2) 20. 比較(1) 21. 比較(2)	限定用法 叙述用法 分詞構文 比較変化・原級を使った表現・比較級を使った表現 最上級を使った表現・最上級の内容を表す原級・比較級	
期	12月	第3回考査		18
	1月	22. 関係詞(1) 23. 関係詞(2) 24. 関係詞(3)	関係代名詞 前置詞と関係代名詞・what 関係副詞 継続用法	
後	2月	25. 仮定法(1) 26. 仮定法(2) 27. 話法	仮定法過去・仮定法過去完了・願望を表す用法 慣用表現・if 節に代わる表現・未来の仮定 時制の一致・話法	18
	3月	第4回考査		

※ 上の表は「Intensive English Grammar in 27 Lessons」(文法テキスト)に関するものです。

※ 「Birdland」(Team-Teaching 用)については別途指示をします。

## 英語 I (R)

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	Lesson 1	The World of Street Performers	24
	5月	Lesson 2 Lesson 3	Jamie Oliver – "The Naked Chef" Proud Panther	
期	6月	第1回考査		24
	7月	Lesson 4 Reading 1	Young Victims of War The Star	
後	8月	Lesson 5	Easy Japanese	27
	9月	第2回考査		
後	10月	Lesson 6	Pink Bow Tie	27
	11月	Lesson 7 Lesson 8	Child Labor Ant Communication	
期	12月	第3回考査		30
	1月	Lesson 9 Lesson 10	My Brother's keeper I Will Be There for You	
後	2月	Reading 2 読解力養成演習	The Vicar's Pleasure ※別途指示	30
	3月	第4回考査		

家庭基礎

平成20（2008）年

	単元名	学習する内容	時間数
前期	4月 <b>第1章</b> 人生を見つめる	家庭基礎について（何を学ぶか、学習状況調査等） ライフステージと生活課題 家族と家族法 男女共同参画社会	1 7
	5月 <b>第2章</b> 資源をいかす	消費生活の現状と課題 契約と消費者信用 講演 消費者の権利と責任（消費者問題と法律） 家計を考える 循環型社会を作る（グリーンコンシューマー・3R） 「課題1 広島市消費生活展レポート」	
	6月 (第5章食生活を営む) 第1回考査	食中毒予防（VTR） 実習「第1回調理実習」	
	7月 <b>第3章</b> 子どもを育てる	<b>調理実技テスト（実習「第2回調理実習」）</b> 子どもの成長・発達（VTR・離乳食の試食） 親になること 子どもの権利と福祉 少子化対策 実習「基町幼稚園実習」	1 8
9月 ホームプロジェクト (第8章生活をつくる) <b>第4章</b> 高齢者と生きる	「課題2 オリジナル新聞の制作」 「課題3 ボランティア活動（福祉施設等）」 「課題4 ホームプロジェクトの実施」 ホームプロジェクトの発表 一つ 選択して 実施 高齢者を知る（インタビュー・VTR） 介護と高齢者への支援（ノーマライゼーション）		
後期	10月 <b>第6章</b> 衣生活を営む	なぜ服を着るの？ 被服材料（VTR） 制服の表示調べと、被服の手入れ（VTR） 実習「基礎縫いを生かした小物作り」 被服実技テスト	1 7
	11月 <b>第5章</b> 食生活を営む	なぜ食べるの？ 自分の食生活診断 栄養素とそれを多く含む食品	
	12月 1月 2月	実習「第3回調理実習」 食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす 食品の衛生と安全性 食品添加物・表示の見方（VTR） 実習「コンビニ弁当を調べよう」 実習「第4回調理実習」（塩分濃度測定） 食料自給率と輸入食品	1 8
	2月 <b>第7章</b> 住生活を営む	現代の住生活 住まいの健康と安全（バリアフリー・ユニバーサルデザイン） 実習「一人暮らしの住居設計」 自己評価、まとめと考察	
	3月 1年間の学習の まとめ 第4回考査	これからの生活設計、豊かな生活を目指して	

到達目標	発展学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科を学ぶ目的、何を学習するかを理解する。</li> <li>ライフステージと生活課題を理解する。</li> <li>家族・家庭の意義を理解し、男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性について認識する。</li> <li>身近な経済の仕組みを理解し生涯の生活設計の必要性を理解する。</li> <li>現代の経済環境と、消費者の権利と責任について理解し、現代の消費生活の課題を認識して資源や環境に配慮できる消費者として行動できるようにする。</li> <li>栄養、食品、調理、食品衛生などに関する知識と技術を習得し、食生活を健康で安全に営むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自立する」「生活を創造する」とはどのようなことか考えてみよう。</li> <li>家庭生活に関連する新聞記事を読もう。</li> <li>家族に関する民法について調べてみよう。</li> <li>高校生活や大学生活に必要な費用を調べてみよう。</li> <li>資源、環境に配慮した製品や付けられているマークについて調べてみよう。</li> <li>現代の消費社会の課題について、新聞記事や消費生活センターなどの施設を利用し、最近の事例をもとに調べてみよう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で衛生的な、調理の基礎技術を身につける。</li> <li>子どもの健全な発達のために、親や家族及び社会の果たす役割が重要であることを理解する。</li> <li>子どもを産み育てることの意義を認識する。</li> <li>生活の中から課題を見だし、その解決方法を考え、計画を立てて実践できるようにする。</li> <li>高齢者の心身の特徴と、高齢者の福祉について理解する。</li> <li>高齢者の自立生活を支えるために必要な家族や地域・社会の果たす役割について認識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の食事を作ろう。</li> <li>地域の福祉施設や専門機関について調査研究してみよう。</li> <li>地域の一員として、今の自分にできることから子どもと関わってみよう。</li> <li>高齢者福祉施設や保育所などを訪問して高齢者や乳幼児と交流しよう。</li> <li>高齢社会の課題について考えてみよう。</li> <li>シニアへの支援について今の自分にできることから実践してみよう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する知識と技術を習得し、衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。</li> <li>主な食品の栄養的特質と調理上の性質を理解し、栄養的にバランスのとれた食事について、日常の食事と関連付けて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に必要なものを製作しよう。</li> <li>パーソナルカラーを見つけよう。</li> <li>衣生活と環境について自分の考えをまとめてみよう。</li> <li>自分の食生活の問題点を見つけ、改善方法を考えて実践しよう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安量が変わる。</li> <li>食品表示の見方、食品の選び方を理解する。</li> <li>住居の機能、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活を健康で快適に営むことができるようにする。</li> <li>高校生としての発達課題やこれからの生き方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子組み換え食品や輸入食品の安全性について調べてみよう。</li> <li>日本の食料自給率とその問題点について調べてみよう。</li> <li>これからのライフステージと住居についてさらに研究してみよう。</li> <li>これからの自分の生き方について生涯発達の視点で考えをまとめてみよう。</li> </ul>

## 素描 I

		单元名	学習内容	時間
前 期	4月	表現素材と用具	様々な表現素材と用具について理解する ・表現材料の種類と特性について ・表現に応じた用具の選択と応用について	4
	5月	素描実習Ⅰ(静物)	・鉛筆など描画用具の使い方 ・デッサンの心構えについて ・基本形態の観察と表現 ・明暗表現による立体感の感じ方	1 4
	6月	素描実習Ⅱ (自画像)	人物素描を通して自己の内面を表現する力を養う ・バランスと比率について ・動勢のつかみ方 ・量感のつかみ方 ・面の方向性とタッチの練習 ・表情のポイントとなるところをおさえる	1 7
	7月			
	8月 9月			
後 期	10月	素描実習Ⅲ (細密画)	物体の観察力とその表現力の養成 ・じっくり観察し、新たな発見 ・物体の存在感とその表現	1 8
	11月			
	12月			
後 期	1月	素描実習Ⅳ (静物)	木炭による素描の基礎と表現方法について理解する ・石膏デッサンをする理由について ・木炭の扱い方を理解する ・木炭による明度段階の練習 ・基本的形態の表現方法 ・形をとるときの基本的方法と表現について	1 7
	2月			
	3月			

## 美術 I

		单元名	学習内容	時間
前 期	4月	遠近法について	遠近法について理解する ・空気遠近法について ・線遠近法とその応用について	4
	5月	陶芸基礎・実習	紐作りによる湯呑みの制作 ・紐作りの特性と技法	1 6
	6月	静物画(水彩)	不透明水彩による水彩画技法と表現の学習 ・静物画の構図のとり方や着彩の方法を学ぶ ・色の組み合わせによる表現効果の違いを学ぶ	1 5
7月 8月 9月				
後 期	10月	文字のデザイン	文字のデザインについて学習する ・レタリングの基礎、明朝体とゴシック体 ・文字の間隔と大きさバランスのとり方	8
	11月	創作文字	創作文字について学ぶ ・創作文字のいろいろ ・ロゴマークとシンボルマーク	1 4
	12月	鑑賞		
後 期	1月	立体構成	立体構成の基本を学習する ・各種立体構成について ・ペーパークラフトの特徴 ・多面体の制作 ・感情を形にする	1 3
	2月	鑑賞		
	3月			

## 美術基礎

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	色彩学	色の成り立ちについて学習する ・色の三要素(明度, 彩度, 色相) ・科学的に色彩を認識する ・色の見え方や性質について	4
	5月	工芸基礎・実習	藍染の基礎技法  ・ろうけつ染めと絞り染めの技法を学ぶ	16
	6月			
	7月	鉛筆デッサン	鉛筆デッサンの基礎技法と表現の学習Ⅱ ・基本形態の観察と表現 ・明暗表現による立体感の感じ方	15
8月 9月				
後 期	10月	水彩画実習(静物)	透明水彩による水彩画技法と表現の学習 ・絵の具の種類と用法について学習する ・静物画の構図のとり方や着彩の方法を学ぶ ・色の組み合わせによる表現効果の違いを学ぶ	17
	11月			
	12月	鑑賞		
期	1月	油彩画実習	油絵の基礎技法について学習する ・明暗表現について ・質感表現について ・古典技法について・彩色の基本 ・空間表現について 自己を見つめて, 内面の感情や気持ちを表現することを学ぶ	18
	2月			
	3月	鑑賞	人物表現の基本を学習する ・人体の比率やバランスの取り方 ・質感表現について ・表情やポーズのとり方による感情表現 ・色彩やタッチによる感情表現	